




M-AUDIO®

UBER MIC

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるとような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://m-audio.jp>

M-AUDIO <お問い合わせ>

inMusic Japan 株式会社
カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23
オーク南麻布ビルディング6階
<http://m-audio.jp/support/>

ユーザーガイド

特徴

- あらゆるアプリケーションに対応した簡単で直感的な操作
- 広範囲の30～20,000 Hzの周波数応答による精密で自然な音
- シングルポイントステレオを含む3カプセルのコンデンサマイク素子
- 4つのポーラパターンから、理想的な録音をカスタマイズ可能
- ポーラパターン：カージオイド、フィギュア8、無指向性、ステレオ
- 1/8インチヘッドフォンジャックと内蔵ヘッドフォンアンプ
- レイテンシーが発生しない録音とモニタリングを可能にする、マイク音声調整付きUSBとダイレクト・ミキシング・コントロール
- マイクのミュートコントロール機能でプライバシーを確保
- LCDディスプレイにポーラパターンと選択されているコントロールレベルを表示
- スタジオ品質の正確な録音と再生
- 卓上に設置可能、スタンド設置オプション搭載
- 様々なセットアップにフィットするスタンド

同梱品

- ・Uber Mic本体
- ・内蔵マイクスタンド
- ・マイクスタンド・エクステンダー
- ・ミニUSBケーブル
- ・ユーザーガイド / 保証書

サポート

製品の最新情報(システム要件や互換性情報など)は、M-Audio のホームページ <http://m-audio.jp>にてご確認ください。また、製品のサポートについては、<http://m-audio.jp/support/>をご参照ください。

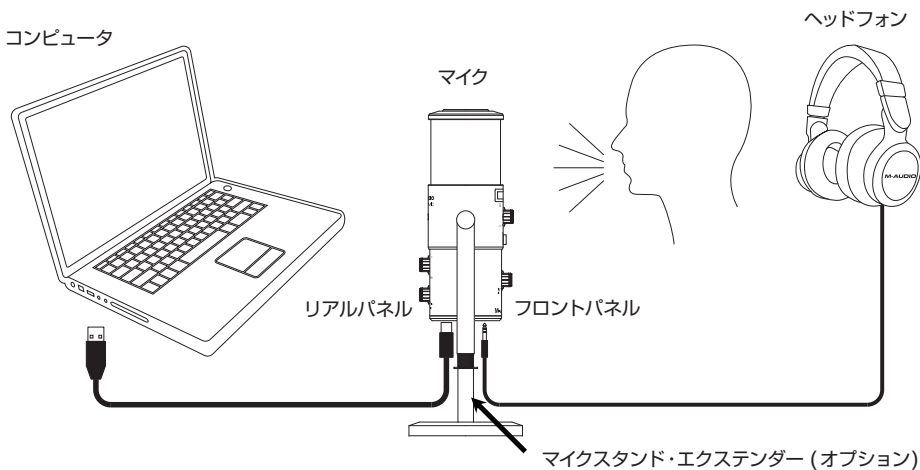
Pro Tools | First M-Audio Editionのダウンロード方法

1. m-audio.com/softwaredownloadsにアクセスしてアカウントを作成、またはログインします。
2. 画面の指示に従ってUber Micを登録します。
3. ソフトウェアをダウンロードします。
4. Windowsユーザーはm-audio.com/driversからドライバをダウンロードして下さい。

セットアップ

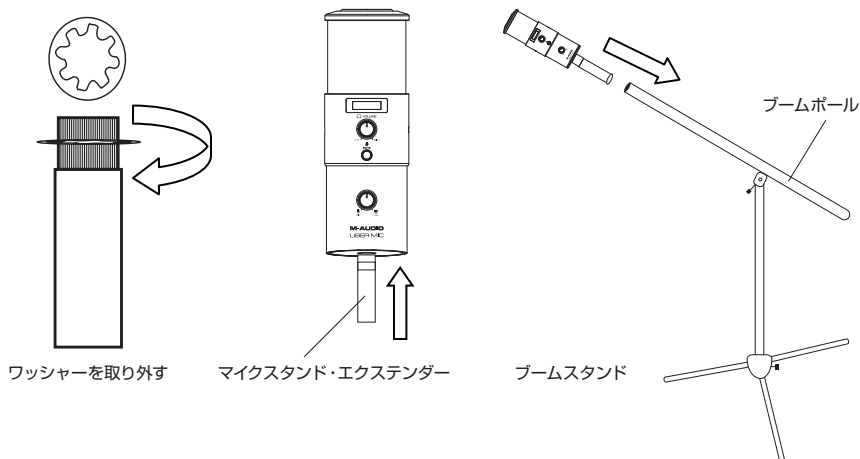
接続

* 同梱品リストにないものは別売です。



ブームスタンドを使用してセットアップする: 付属のマイクスタンド・エクステンダーを、マイク本体下パネルのマウントに接続します。次に、マイクスタンド・エクステンダーをブームポールマウントに接続します。

注意: ブームポールをUber Micに接続すると、ミニUSBポートが使用できなくなることがあります。同梱のマイクスタンド・エクステンダーを取り付け、USBケーブルとヘッドホンケーブルをUber Micに接続する出来るようにしてください。USBとヘッドホンのポートもブロックされてしまうので、星型のワッシャーを取り外します。



推奨

ソフトウェア: Uber MicとPro Tools/First M-Audio Editionを同梱しているので、すぐに音楽を作り始めることができます。m-audio.comにUber Micを登録し、ユーザーアカウントにサインインしたら、Pro Tools/First M-Audio Editionのインストール手順に従ってインストールしてください。

Windowsユーザーへの注意: Uber MicをPro Tools/First M-Audio Editionで使用するには、m-audio.comからUber Mic Windowsドライバをダウンロードしてください。

バーチャル・インストゥルメント: 付属のバーチャル・インストゥルメント・プラグインをインストールするには、ソフトウェアダウンロードカードの指示に従ってください。インストール後、ほとんどの DAW はバーチャル・インストゥルメント・プラグインを自動的に読み込みません。Pro Tools/First M-Audio Edition でバーチャルインストゥルメント・プラグインにアクセスするには、スキャンするソフトのプラグインフォルダを選択して下さい。

Windows (32ビット) : C:\Program Files (x86)\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

Windows (64ビット) : C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

macOS : Macintosh HD/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins

クイックスタート

1. Uber MicをコンピュータのUSBポートに接続します。
2. コンピュータの設定でUber Micをデフォルトの録音/再生デバイスに設定します。
▶ 詳細については、**オーディオ設定**を参照してください。
3. レコーディングしている音源の、ポラーパターン・セレクターを調整します。
▶ 詳細については、**操作>ポラーパターン**のセクションを参照してください。
4. コンピュータのサウンド入力ボリュームを設定します。
▶ 詳細については、**操作>オーディオ設定**の調整を参照してください。
5. コンピュータのサウンド出力ボリュームを設定します。
▶ 詳細については、**操作>オーディオ設定**の調整を参照してください。
6. 好みのボイスチャット、ストリーミング、ポッドキャスト、録音ソフトウェアを開きます。ソフトウェアでUber Micを設定するには、ソフトウェアのPreferences、Device Setup、またはOptionsを開いて、Uber Micでオーディオを送受信するように設定します。
▶ 詳細については、**ソフトウェアのマニュアル**を参照してください。
7. マイクに向かって話しながら、マイク・ゲインのつまみを回して、マイクがコンピュータに送信する信号のレベルを調整します。このつまみを設定すると、ゲインを適切なレベルに調節できます。オーディオに歪みが生じるような、信号が歪んだり、ピークしないように調節します。
8. ヘッドフォンの音量つまみを回して音量を調整したら、ヘッドフォンをUber Micのヘッドフォン出力に接続するか、コンピュータのサウンドカードに接続されたスピーカーを使って、オーディオ信号をモニターします。
9. USB-Micのつまみを回して、ヘッドフォン出力に送られる信号のブレンドを調整します。「MIC」方向に回すと、マイクの信号がより聞こえます。また、マイクの信号を「USB」方向に回すと、コンピュータの出力信号がより聞こえます。

M-AUDIO

オーディオセットアップ

Uber Micをデフォルトの録音/再生デバイスとして設定するには、お使いのコンピュータのオペレーティングシステムに基づいて、以下の手順設定します。

Windows:

1. 付属のUSBケーブルを使用してUber Micをコンピュータに接続します。
2. タスクバーに、ボリュームコントロールの「スピーカー」アイコンがあります。
それを右クリックし、再生デバイスを選択します。*以下の手順からも選択できます。
・[スタート]メニューから[コントロールパネル]> [ハードウェアとサウンド]> [サウンド]
3. Windowsサウンドコントロールパネルで、[再生]を選択し、デフォルトデバイスとして[M-Audio Uber Mic]を選択します。
4. 録音タブをクリックし、デフォルトデバイスとして[M-Audio Uber Mic]を選択します。
5. 右下隅の[プロパティ]をクリックします。
6. 新しいウィンドウで、[詳細]タブをクリックし、デフォルトのフォーマットとして[2チャンネル]、[16ビット]、[48000 Hz(DVD品質)]を選択します。
7. 排他モードの両方のチェックボックスをオフにします。
8. [OK]をクリックして[プロパティ]ウィンドウを閉じます。
9. [OK]をクリックして[サウンド]コントロールパネルを閉じます。

Mac OS X:

1. 付属のUSBケーブルを使用してUber Micをコンピュータに接続します。
2. [アプリケーション]>[ユーティリティ]>[Audio MIDI設定]に進みます。
3. [オーディオ装置]ウィンドウで、左の列の[M-Audio Uber Mic]を選択します。
4. 右クリックするか、Ctrlキーを押しながら[M-Audio Uber Mic]をクリックし、[このサウンド入力装置を使用]を選択します。
5. 右クリックするか、Ctrlキーを押しながら[M-Audio Uber Mic]をクリックし、[このサウンド出力装置を使用]を選択します。ヘッドフォン出力を通じて、マイク/コンピュータ信号をモニターします。
6. オーディオMIDIセットアップを終了します。

ソフトウェアのマイクのセットアップ

Windowsユーザーへの注意: Uber MicをPro Tools/First M-Audio Editionで使用するには、m-audio.comからUber Mic Windowsドライバをダウンロードしてください。

オーディオ・ソフトウェアがUber Micからオーディオを受信するように設定されていることを確認してください。これは通常、ソフトの環境設定、デバイス設定、オプションで実行できます。

▶ 詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Pro Tools/First M-Audio EditionでUber Micをセットアップするには:

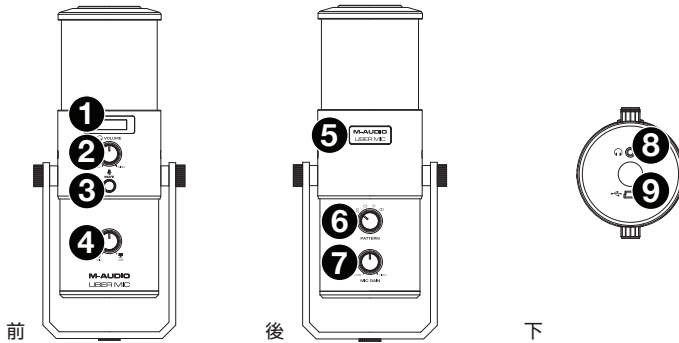
1. 付属のUSBケーブルを使用してUber Micをコンピュータに接続します。
2. Pro Tools/First M-Audio Editionを開きます。
3. [設定]> [プライバックエンジン]を選択します。
4. プライバックエンジン・プルダウンメニューを開き、[M-Audio Uber Mic]を選択します。

注意: プロジェクトを保存し、再起動する必要があります。

5. [サンプルレート]を選択し、[OK]をクリックして設定ウィンドウを閉じます。

オーディオトラックを追加してUber Micのオーディオを受信し、録音されたオーディオをUber Micヘッドフォン入力を通してストリームすることができます。

特徴



- ディスプレイ:**現在のポーラーパターン[Pattern]と、マイクでした設定[Mic GainまたはHeadphone Volume]が確認できます。
- ヘッドホン音量:**ヘッドホン出力の音量を調節します。
- ミュート:**コンピュータに送信されたマイク信号をミュートまたはミュート解除します。ミュートしている間は点滅し、ミュートされていないときは点灯します。(ミュートされているときは、Mic-USBノブをマイクに向けても、コンピュータにオーディオが送信されません。)
- Mic-USB:**ヘッドフォン出力に送られる信号のブレンドを調整します。「MIC」方向に回すと、マイクの信号がより聞こえます。また、マイクの信号を「USB」方向に回すと、コンピュータの出力信号がより聞こえます。
*コンピュータでオーディオを再生していてマイクを使用していない時は、このつまみをUSB設定の方に回しておくことをおすすめします。
- パワーライト:**Uber Micの電源を入れると、パワーライトの文字が点灯します。
- パターン・セクター:**マイクのポーラーパターンを選択します。周辺環境に合わせてマイクの拾いを方決定して下さい。
▶詳細については、次の操作>ポーラーパターンセクションを参照してください。
- マイクゲイン:**マイクからコンピュータに送信される信号のレベルが調整されます。ゲインを適切なレベルに調節します。オーディオに歪みが生じるような、信号がクリップまたはピークしないように設定します。
注意:「クリッピング」した場合、ソフトの音量レベルメーターが0 dBを超え、赤色になります。
- ヘッドフォン出力:**1/8インチ (3.5 mm) のステレオ・ヘッドフォンをこの出力に接続して、マイクやコンピュータからのオーディオ信号をモニターします。ヘッドホンの音量つまみを使って音量を調節します
Mic-USBノブを使用して、2つの信号のブレンドを調整します。
注意:ボイスチャットアプリケーションを使用する際は、ヘッドフォン出力をパワードスピーカーに接続しないでください。音響フィードバックループを起こしたり、会話中の音の品質が悪くなる可能性があります。
- ミニUSBポート:**このポートをコンピュータのUSBポートに接続するには、付属のミニUSBケーブルを使用します (USBハブに接続する場合は、電源内蔵のハブであることを確認してください)。コンピュータのUSBポートで、Uber Micに電力を送ることができます。Uber Micはクラスに対応しているため、追加のドライバをインストールする必要はありません。

操作

ポーターパターン

マイクのポーターパターンを選択するには、パターンセレクターのつまみを回して、希望の設定にします。

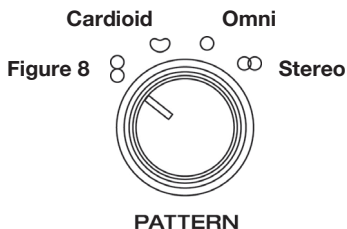


Figure 8 (前後)

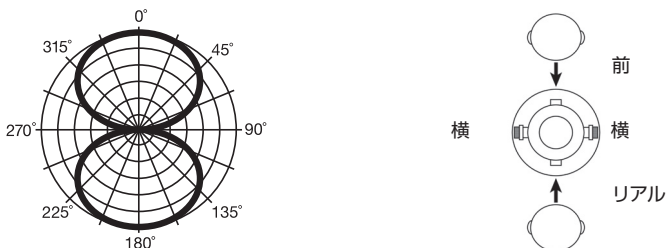
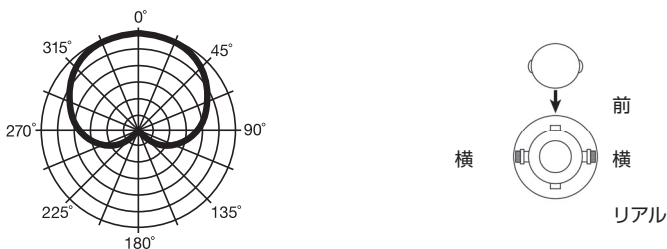


Figure 8 (前後)

フィギュア8とは、マイクが前後から音を拾うことを意味します。マイクの側面からの音は拾われません。インタビュー、楽器の演奏、ボーカルデュエットの際に、1~2個のボタン（1つの音源はマイクの前面に、もう1つの音源はマイクの背面に面しています）でこのパターン設定を使用します。

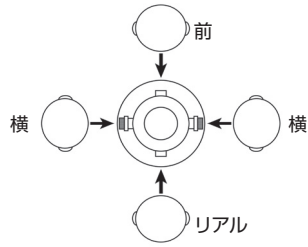
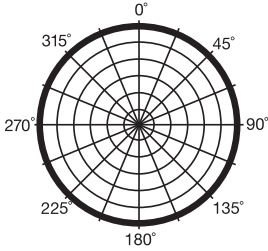
Cardioid (前方向)



Cardioid (前方向)

カーディオイドとは、マイクが前方から直接音を拾うことを意味します。マイクの側面と背面からの音を拾いません。このパターン設定は、ポッドキャスト、ボイスオーバー、ボーカル、楽器の使用の際に最適です。

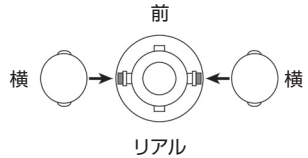
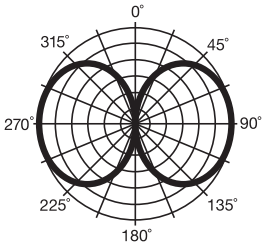
Omni (全方向)



Omni (全方向)

オムニとは、すべての方向から均等に音を拾うことを意味します。このパターン設定は、部屋の雰囲気をつかみたい場合に使用します。会議通話、フィールド録音、イベントやオーケストラに最適です。この設定の際主音源はマイクの正面に置いてください。このパターン設定は、会議通話、フィールド録音、イベント/オーケストラに最適です。

Stereo (左右)

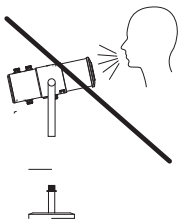


Stereo (左右)

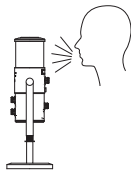
ステレオとは、マイクの左右から音を拾うことを意味します。まず、音のソースに向けて5cm~30cmの距離にマイクを設置します。その後音のソースを右/左に移動させ、右チャンネル/左チャンネルの位置を調整します。このパターンの設定は、ヴォーカル、コーラス、楽器の録音に最適です。録音ソフトウェアを使用する場合、録音するトラックはステレオ (2チャンネル) に設定してください。

マイクロフォンの設置

間違った設置



正しい設置



Uber Micサイドアドレス型のマイクロフォンで、垂直状態で正面から音を拾います。これに対してフロントエンド型のマクは、マイクの先からサウンドを拾います。左の図を参照して設置してください。

ボリューム設定の調節

会話、ストリーミング、ポッドキャスト、録音などの異なる使用状況での理想的なボリューム調整方法：

1. マイクゲインのノブを回してコンピュータに入力される、または送信される信号のレベルを調節します。ゲインを適度なレベルに調節します。オーディオに歪みが生じる信号である、クリップまたはピークしないように調節します。

注意：「クリッピングすると、ソフトの音量レベルメータが0dBを超え、赤色で表示されます。

2. ヘッドフォン音量ノブを回して音量を調整し、ヘッドフォンをUber Micのヘッドホン出力に接続するか、コンピュータのサウンドカードに接続したスピーカーを使用して、オーディオ信号をモニターします。
3. USB-Micノブを回して、ヘッドフォン出力に送られる信号のブレンドを調整します。「MIC」方向に回すと、マイクの信号が多く聞こえます。マイクの信号を「USB」方向に回すと、コンピュータの出力信号が多く聞こえます。
4. コンピュータのサウンド入力ボリュームを設定する：

- Windows：タスクバーに、ボリュームコントロールのスピーカーのアイコンがあります。それを右クリックして[録音デバイス]を選択します。Windowsサウンドコントロールパネルで、をクリックします。[録音]タブをクリックし、右下隅の[プロパティ]をクリックします。[レベル]タブをクリックし、マイクの音量スライダを歪みのない適度なレベルに調整します。

注意：クリッピングすると、ソフトの音量レベルメータが0 dBを超え、赤色で表示されます。

- macOS：アップルメニューから、「システム環境設定」を選択します。サウンドアイコンを選択します。[入力]タブを選択し、入力音量を約80%に調整します。この設定を調節して、信号が歪まない程度の適度なレベルにします。

注意：クリッピングすると、ソフトの音量レベルメータが0 dBを超え、赤色で表示されます。

5. コンピュータのサウンド出力ボリュームの設定：

- Windows：タスクバーで、ボリュームコントロールのスピーカーのアイコンがあります。それを右クリックし、再生デバイスを選択します。Windowsサウンドコントロールパネルで、をクリックします。「再生」タブをクリックし、右下隅の[プロパティ]をクリックします。[レベル]タブをクリックし、音量スライダが歪まない程度の適度なレベルに調整します。
- macOS：アップルメニューから、[システム環境設定]を選択し、サウンドアイコンを選択します。[出力]タブを選択し、音量を100%に調整します。

付録

技術仕様

マイク	
タイプ	3カプセルコンデンサ・USBマイク
カプセルサイズ	16 mm
指向性	フィギュア8、カーディオイド、オムニ、ステレオ
周波数特性	30 Hz – 20 kHz
感度	-45 dB (0 dB = 1 V/Pa @ 1 kHz)
SNR	110 dB
最大 SPL	120 dB (THD<1%, 1 kHz)
ヘッドフォン出力	
インピーダンス	10 Ω
出力パワー	30 mW(@ 48Ω)
THD	0.03%
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz
SNR	110 dB
一般	
コネクター	3.5 mm TRS / ステレオヘッドフォン出力 ×1 ミニUSB経由×1 -27 取り付けポイント×1
電源	ミニUSB経由
サイズ	11.4 x 27.4 cm (直径 x 高さ : スタンド付き)
重量	1.8 kg (マイク&スタンド) 0.7 kg (マイク) 1.0 kg (スタンド)

*仕様は予告なしに変更されることがあります。

商標及びライセンス

M-Audio、SONiVOX、AIR Music Technology は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。Apple Store、iPad は、Apple Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。Kensington は、ACCO Brands の登録商標です。その他すべての製品名または会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japanは、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づきinMusic Japanが負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japanでのみ行われるものとします。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマー・サポートへご相談ください。

保証書	
製品名:	
製造番号:	
ご購入日:	
保証期間:ご購入日から一年間	
お客様	販売店名
お名前:	ご住所:
ご住所:	
お電話:	お電話:

inMusic Japan株式会社 カスタマー・サポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ: <http://m-audio.jp/support/>

- ・ 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- ・ 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ・ 本書は日本国内においてのみ有効です。